

15th
anniversary

主 催：早稲田大学高等研究所
共 催：早稲田大学 SGU 国際日本学拠点／総合人文科学研究センター
角田柳作記念国際日本学研究所／早稲田大学美術史学会
助 成：公益財団法人三菱財団 2020 年度助成
(人文科学：202020034「中世日本の環境と美術」)

早稲田大学高等研究所「人新世と人文学」セミナーシリーズ（第5回）

地域づくりの現場に 立ち現われる妖怪

このセミナーシリーズは、2021 年 10 月より活動開始した、早稲田大学高等研究所「人新世と人文学」プロジェクトの一環として実施するものです。人新世の概念を共有した領域横断的な対話の場を設けることで、細分化された専門知を連結し、人文学の新たな可能性を拓くことを試みます。

第5回講座では、都市計画における合意形成マネジメントを専門とする高田氏に、地域の風土性を踏まえた計画論の観点から「妖怪と防災」について講じていただきます。日本の国土で語られる多様な妖怪は、そこに生きた人びとのリスクに対するインタレスト（関心・懸念）の表象だと考えることができます。現代の地域づくりにおいて、妖怪の存在に焦点を当てることは、空間・時間・人間のあいだとしての風土性を把握することにもつながります。

日時：2022 年 7 月 23 日（土）10:00 ～ 12:00

- ◆ 講演者：高田知紀（兵庫県立大学自然・環境科学研究所准教授）
- ◆ 参加方法：Zoom 開催 ※要事前登録

参加登録用 QR コード



◆◆プログラム◆◆

- 10:00 ～ 10:05 開会挨拶
- 10:05 ～ 11:15 講演「妖怪と防災」（高田知紀）
- 11:15 ～ 11:20 休憩
- 11:20 ～ 11:55 質疑応答・ディスカッション

* 司会：山本聡美（早稲田大学文学学術院 教授）



【講演者プロフィール】

1980 年兵庫県生まれ。兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授。兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員。専門は合意形成学、地域計画論、風土論。東京工業大学大学院 社会理工学研究科 価値システム専攻博士課程修了。博士（工学）。

高専の土木系学科を卒業後、およそ 5 年間、造園施工会社にて公園整備や緑地管理に従事。そのなかで、公共事業にかかわるステークホルダー間での合意形成の重要性を実感し、大学院に進学。「自然再生事業における合意形成マネジメント」をテーマに学位を取得。

主に、地域づくりや環境保全の現場における合意形成の実践的研究を軸としつつ、神社空間のコミュニティ活動での活用方策、地域伝承や物語を活用した防災方策についても研究を展開している。